

## 平成30年度 麻生区市民提案型協働事業 報告書

- 第3期超高齢団地の支え合い立ち上げ事業 P 1  
(白山1丁目・ちょっと支援隊)
  
- モノづくりの楽しさ～和風つくりと風揚げ大会～ P 6  
(あさお和風の会)

## 事業結果報告書

(あて先) 川崎市麻生区長

団体名	白山1丁目・ちょっと支援隊（略称、支援隊）
-----	-----------------------

## 1 事業結果

事業名	第3期・超高齢団地の“支え合い”立ち上げ事業	
実施時期	平成30年5月1日 ～ 平成31年3月8日	
事業費	予算額	419,400円
	決算額	318,859円
実施結果	<p>(具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など)</p> <p>1) さつき街区集会所での講演会（計4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月16日(土)「気になる人を真ん中に ボランティアで地域は変わる」 鈴木恵子・すずの会代表（川崎市宮前区）（参加者43人）</li> <li>・7月14日(土)「健康格差社会への処方箋」 近藤克則・千葉大予防医学センター教授（52人）</li> <li>・10月13日(土)「老いても病んでも地域で暮らし続ける」 川越正平・松戸市あおぞら診療所医師（50人）</li> <li>・2月9日(土) 認知症サポーター養成講座 柿生アルナ園地域包括支援センター、特別養護老人ホームラッセル麻生、麻生区役所地域みまもり支援センター（26人）</li> <li>・全ての講演活動を収録し、DVD化した。</li> </ul> <p>2) 先進地視察（参加）（計3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月2日(土) 小規模多機能ホーム・ぐるんとびー駒寄（4人）</li> <li>・9月14日(金) 福祉クラブ生活協同組合・きらり港北（9人）</li> <li>・1月16日(水) NPOふれあいねっと 埼玉県上尾市（9人）</li> </ul> <p>3) 自分の元気度が分かる「体力測定会」 11/24(土) 実施（参加者15人） 測定項目：①歩行、②手作業、③身体調整、④姿勢変換</p> <p>4) 有志ボランティア活動“支え合い”活動 2月末で12例。詳細は同通信に掲載。 2月末まで利用者11名、延べ205件の支援を実施。 支援内容はゴミ捨て(定期利用も含む)、電球交換、粗大ごみの撤去、車いすの転倒、手紙の投函等。</p> <p>5) 支え合いボランティア会議 第1回(7/31)25人参加、第2回(11/15)20人参加。</p> <p>6) 会報「ちょっと支援隊ボランティア通信」発刊(不定期発行) 平成30年3月に創刊。6月2号、9月3号、11月4号、2月5号</p> <p>7) コミュニティカフェ「さつき会」開催(計7回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4/28(土) お好み焼き+頭の体操：16人</li> <li>・6/23(土) 釜揚げうどん+頭の体操：22人</li> <li>・7/28(土) 野菜と豚肉のしゃぶしゃぶ鍋+頭の体操：17人</li> <li>・9/29(土) 生協弁当+ストレッチウオーキング、日本一周バイク旅報告：19人</li> <li>・10/27(土) 生協弁当+真福寺町内会会長より白山地区の今昔：20人、</li> <li>・12/21(金) 忘年会+映画の世界についてお話：25人</li> <li>・2/3(土) 恵方巻と漬け物(差入れ)：20人。</li> <li>・コミュニティカフェ「さつき会」は毎回20人前後の人が集まり、ゲストスピーカー</li> </ul>	

	<p>一の話聞くようにし、テーマによって参加者が変わる談話会を目指している。</p> <p>8) 新春白山寄席 2/3 柳亭市若：柳亭市馬の門下生で前座務め (34 人)</p> <p>9) 各種サークル立ち上げ：囲碁倶楽部 (6 人)、健康麻雀倶楽部 (18 人)、歩こう会 (都度呼掛け、昨年 11 月 3 日に 3 人参加で始まり、3 月 2 日で 9 回実施。最高 7 人)  &lt;実施予定のサークル&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせの会…3/30 読み聞かせ講習会を開催予定。</li> <li>・芸術作品展…趣味の作品を集会場に展示する作品展を次年度に計画予定。</li> </ul> <p>10) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポプラ支え合いとの情報共有 (適宜)</li> <li>・ちょっと支援隊の活動の他街区との情報共有・提供 8/26 アカシア街区支え合い活動準備会で活動報告</li> <li>・管理組合との連携について 管理組合の高齢者支援担当である副理事長を窓口として、連携について繰り返し話し合いを行った。今後はちょっと支援隊とマンション管理組合で定例会をする方向で検討している。</li> </ul>
<p>事業総括 (自己評価)</p>	<p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に盛り込んだことは、全て達成できた。</li> <li>・講演会は、身近な所で、その分野の第一人者から詳しい話を聞いてありがたいと評価する声が多数寄せられた。各種講演会を通じて、健康寿命を延ばすために個人で努力することが大切だという気付きを与える機会にもなった。 支援隊にとっても、各種講演会を通じて、“支え合い”活動にとって何が重要であるかを学ぶことができ、メンバー間に認識の共有化ができた。</li> <li>・区との協働事業は今期で終了するので、次にどういう形で支え合い活動をすべきかに絞って、すでに住民の支え合いを実現している首都圏の先進事例を視察したが、未だ検討中。</li> <li>・ボランティア 37 名から成る“支え合い”活動は、「毎日のゴミ捨てをやってほしい」「車いすに乗ったまま転倒した。起こしてくれ」「浴室の電球交換を頼みます」など、介護保険の対象にならない事例が積みあがりつつあり、“支え合い”活動の認知度は上がりつつあります。</li> <li>・ボランティアの結束を深めるため、ボランティア会議を年 2 回開催し、さらに、経験を共有化するため、ボランティア通信を第 5 号まで発刊した。また、ボランティアが安心して活動するために個人情報取り扱いや保険加入について検討した。</li> <li>・前年度に引き続き様々なイベントを開催し、住民相互の親睦を図る行事を積極的に展開した。</li> <li>・コミュニティカフェ「さつき会」は毎回 20 人前後の人が集まり、ゲストスピーカーの話聞くようにし、テーマによって参加者が変わる談話会を目指している。今後は引き籠り防止の一助になることが予想される。</li> <li>・支え合い活動を気軽に利用でき、住民同士が顔の見える関係づくりに役立ち誰もが気軽に参加できる各種サークルを立ち上げた。</li> <li>・特に、健康麻雀倶楽部は女性の参加が多く、備品の充実が求められている。</li> <li>・高齢者に健康に対する関心を高めてもらい、横のつながりを活発化させることを目的とし、自分の元気をチェックする体力測定会を実施した。皆で楽しく健康度を把握できたと好評を博した。</li> <li>・講演活動の全体を収録した DVD は、さつき街区の住民向け貸し出しができるようにしたほか、麻生区役所地域みまもり支援センターを通じて、広く区民が視聴出来るようにした。</li> <li>・生活支援と見守り支援の観点から、高齢者支援を図るため、さつき第一管理組合との連携を強める。</li> <li>・新ゆりグリーンタウン内の支え合い活動グループ「ポプラ・支え合い」とは、立ち上げ時から交流を重ね、経験・知見を共有しながら双方の発展を図っている。また、今年度、アカシア街区が高齢者支援の仕組み作りに着手する動きが見られ、運営に関する相談、経験等を伝えたことで、1 月に新たに支え合い活動グループ「アカシアお助け隊」の発足につながった。他街区に対し、超高齢団地の支え合いの仕組みとして波及効果があった。</li> </ul>

## 2 決算内訳

### (1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
委託料	419,400円	
合計	419,400円	

### (2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
謝礼金等	221,980円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師謝礼 30,000円×3名=90,000円</li> <li>・健康運動指導謝礼 5,000円</li> <li>・視察謝礼               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぐるんどび一駒寄 4,000円×4名=16,000円</li> <li>・きらり港北 3,240円 ・ふれあいねっと 7,740円</li> </ul> </li> <li>・ビデオ制作謝礼 25,000円×4回=100,000円</li> </ul>
旅費・交通費	32,986円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地域視察               <ul style="list-style-type: none"> <li>ぐるんどび一駒寄 4,960円、きらり港北 6,840円</li> <li>ふれあいねっと 21,186円</li> </ul> </li> </ul>
消耗品費	10,169円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリ袋 (講演会 靴入れ用) 648円</li> <li>・インクカートリッジ (ボランティア通信) 7,121円</li> <li>・「すずの会」発行書籍代 (2冊) 2,400円</li> </ul>
印刷製本費	22,804円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー代「講演会・さつき会等の資料及びチラシ」 (資料は参加者、チラシは全戸配布) 22,079円</li> <li>・コピー代「協議資料」 725円</li> </ul>
元気度調査	30,920円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査システム利用料、用具レンタル料 27,000円</li> <li>・体力測定用具等の返送 3,920円</li> </ul>
通信運搬費	0円	
使用料・賃借料	0円	
保険料	0円	
その他	0円	
合計	318,859円	

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙 (様式自由) に記載してください。

平成30年度麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	( 白山1丁目・ちょっと支援隊 )
事業名	( 第3期・超高齢団地の“支え合い”立ち上げ事業 )

視点	項目	判断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 十分達成できた</li> <li>2. ほぼ達成できた</li> <li>3. あまり達成できなかった</li> <li>4. 達成できなかった</li> </ol>	“支え合い”の仕組みを構築し、運用を開始した。講演会・イベント等や先進地域の視察など予定の全てを実施。また、さつき会や各種サークルを通じて住民同士のつながりを深めた。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 十分満足していた</li> <li>2. ほぼ満足していた</li> <li>3. あまり満足していなかった</li> <li>4. 満足していなかった</li> </ol>	講演会についてアンケート調査は行われなかったが、身近な所で、その分野の第一人者から詳しい話を聞いてありがたいと評価する声が多数寄せられた。
	事業の経費は適正でしたか	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 大きな過不足なく適正に執行された</li> <li>2. 見込みよりはるかに少なかった</li> <li>3. 見込みよりはるかに多かった</li> </ol>	予算額の範囲内で賄うことができた。
	実施過程で問題は発生しましたか	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 問題は発生しなかった</li> <li>2. 問題が発生したが適切に解決できた</li> <li>3. 問題が発生し、解決できなかった</li> </ol>	予定した講演会、視察は問題なく、予定通り実施できた。講演会も街区の集会所で支障なく開催できた。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 十分効果があった</li> <li>2. まあまあ効果があった</li> <li>3. あまり効果がなかった</li> <li>4. 効果がなかった</li> </ol>	単独では活動資金が得られず事業を進められなかった。地域みまもり支援センターの応援が得られた。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 十分に行った</li> <li>2. まあまあ行った</li> <li>3. あまり行わなかった</li> <li>4. 行わなかった</li> </ol>	地域みまもり支援センターには、ほとんどの行事に参加してもらえた。反省会や打合せにも積極的に加わってもらい、質の高い活動を実施できた。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 対等な関係になっていた</li> <li>2. まあまあ対等な関係になっていた</li> <li>3. あまり対等な関係でなかった</li> <li>4. 明らかに対等な関係でなかった</li> </ol>	団体と担当課で密に情報を共有しながら進められた。
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 明確かつ適切に設定できた</li> <li>2. 明確だったが、適切でなかった</li> <li>3. 不明確だった</li> </ol>	年度当初に協定書の内容を共有し、行政と団体の役割分担を確認し、適切に実施した。

平成30年度麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

	<p>事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 十分確保できた</li> <li>2. まあまあ確保できた</li> <li>3. あまり確保できなかった</li> <li>4. 確保できなかった</li> </ol>	<p>今後の事業をグリーントウン全体に広げることを意識、開かれた運営を心掛け、多くの参加者が来訪した。</p>
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “支え合い” の認知度を上げ、活動を軌道に乗せるために「ボランティア通信」をさつき街区の全住者に配布する。</li> <li>・ 支え合い活動を気軽に利用でき、住民同士が顔の見える関係づくりに役立ち誰もが気軽に参加できる各種サークルを立ち上げた。</li> <li>・ 特に、健康麻雀倶楽部は女性の参加が多く、備品の充実が求められている。</li> <li>・ 生活支援と見守り支援の観点から、高齢者支援を図るため、さつき第一管理組合との連携を強める。</li> </ul>		

平成31年2月28日

## 事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	あさお和風の会
-----	---------

### 1 事業結果

事業名	ものづくりの楽しさ～和風つくりと風揚げ大会					
実施時期	平成30年5月1日 ～ 平成31年3月8日					
事業費	予算額	181,000円				
	決算額	167,255円				
実施結果	（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など）					
	1、大人のための和風つくり講座					
	9月15日（土）於 市民交流館やまゆり 参加者6名 指導員10名参加 参加者6名は全員が指導員登録を行う。					
	2、和風つくり体験会と風揚げ大会の開催					
	月日	会場	参加者	保護者	指導員	合計
	11月5日 （月）	王禅寺こども文化センター	25名	18名	7名	50名
	12月15日 （土）	寺子屋くりきだい	35名	15名	12名	62名
	1月12日 （土）	千代ヶ丘こども文化センター	17名	11名	12名	40名
2月16日 （土）	寺子屋わかたけ	23名	13名	9名	45名	
	片平こども文化センター	中止				
合計		100名	57名	40名	197名	

	<p>※王禅寺こども文化センターについては、小学校の振替休日の月曜日開催の希望があり、検討の結果開催することとした。ただし、ウイークデーの開催は仕事を持っている指導員もあり、指導員の参加に課題を残した。</p> <p>※寺子屋くりきだいは参加者20名募集のところ35名の参加申し込みがあり、高学年と低学年に分けて2会場で実施した。</p> <p>※寺子屋わかたけの23名のうち前回に引き続き参加したりピーターが6名含まれている。</p> <p>※片平こども文化センターについては、募集期間が十分にとれず、参加者が少数のため中止したいとの申し出による。</p> <p>3、“ビバ！あさおの子どもたち”に参加 12月16日（日）やまゆりで開催 指導員は6名が参加、子ども達とミニ凧をつくり昭和音楽大学横の広場で凧揚げを行った。</p>
<p>事業総括 (自己評価)</p>	<p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など)</p> <p>事業を通じて、参加した子ども達にモノづくりの楽しさを体験させることが出来たと思う。</p> <p>体験会には父兄の参加も多数見られ、親子共同作業の中で親子の意思の疎通が出来たのではないだろうか。また、われわれ指導員にも子どもたちから積極的なアプローチがあり、核家族化して日頃老人との接点が少ない事による寂しさだろうか。いずれにしても、世代間交流の目的は達成されたと思われる。</p> <p>凧づくりの技術については子ども力量を考慮して改良を行っているが、特に竹ヒゴとボンド糊での接着の仕方、糸の結び方が出来ないなど子ども達が多く、不得手な点は結ばなくても良い方法などに変更を加えた。指導員は講座受講者全員6名の増員が出来た。また、ロコミによりさらに2名の増員が出来た、しかしながら、今後の事業拡大に対する為には更なる増員が必要である。</p> <p>今期「あさお和凧の会」のホームページを立ち上げた。今後のあさお和凧の会の周知に役立てたい。</p>



## 2 決算内訳

### (1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
委託料	181,000	
合計	181,000	

### (2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
謝礼金等		
旅費・交通費	40,000	講師交通費 (延べ40名)
消耗品費	106,628	和紙、竹ヒゴ、タコ糸、ボンド、袋ほか
印刷製本費	6,723	チラシ印刷、インク、コピー代
通信運搬費	5,404	振込手数料、運搬費
使用料・ 賃借料	3,000	会館使用料
保険料	5,500	子ども他参加者保険料
その他		
合計	167,255	

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙(様式自由)に記載してください。

平成30年度麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(あさお和風の会)
事業名	(モノづくりの楽しさ～和風つくりと凧揚げ大会)

視点	項目	判断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	1. 十分達成できた ②. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	片平こども文化センターの中止が残念であった。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	1. 十分満足していた ②. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	子どもたちの楽しそうな顔が得られて、成果が達成されたと思われる。
	事業の経費は適正でしたか	①. 大きな過不足なく適正に執行された 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	ほぼ適正であった。
	実施過程で問題は発生しましたか	①. 問題は発生しなかった 2. 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	王禅寺での体験会はウイークデーの開催で、指導員が不足した事又寺子屋くりきだいでは参加者多数で会場が2か所になり、指導員不足になった。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	①. 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	行政からこども文化センターの紹介を頂き、活動個所が広がった。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	1. 十分に行った ②. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	体験会に地域振興課の担当者の参加を頂き理解を深めてもらった。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	1. 対等な関係になっていた ②. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	特に問題はない。
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	①. 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	体験会の開催など運営はすべて会が行っており問題はない。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	①. 十分確保できた 2. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	事業はすべて公開で行っており、問題はない。

## 平成30年度麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

### 今後の課題

本事業は今年で3年を経過し、協働事業は終了するが、活動の舞台としては今年度実施の団体から来年度も実施の申し出があり、新しく立ち上がった寺子屋（他区を含む）への積極的なアプローチにより活動範囲を広げていきたい。

今後の運営は経費面の確保が問題となる。この事業に協賛していただける企業、団体の開拓をするとともに、参加者からの材料費の徴収などの新しい課題も検討する必要がある。

立ち上げたHPの内容を充実させ、周知に活用したい。